



生産量日本一 南条花ハスの里

南越前町堂宮、中小屋など

夏の訪れとともに、土の中の地下茎から大きな葉や花を水面高くまで上げ、極楽浄土に生えるという花ハスがこれほどまでにと咲き誇る。花が美しいのは朝、南条の蓮田は静かに目覚める。



蓮田一面に開花したハスの花と収穫の風景（南越前町堂宮）^①



蘇った「大賀蓮」^②

南越前町南条地区は日本を代表する花ハスの生産地で、生産量は日本一を誇っています。

毎年7月中旬から8月中旬にかけて、南条地区のあちらこちらで花ハスの色鮮やかな花びらが開きます。見るものの心に不思議な安らぎを与えるその優美な姿は、背景の山々とあいまって、優しい光景を創り出します。



はすまつり（南越前町中小屋）^③

ハスの里を象徴する場所が「花はす公園」です。千葉県検見川の地下で眠っていたハスの実が2000年ぶりに蘇った「大賀蓮」をはじめ、世界の花ハス約120種が優美な姿で園内いっぱい咲きます。また、7月上旬から8月上旬まで開催される「はすまつり」期間中は園内がライトアップされ、日中とは違った優美できらびやかな表情の花ハスを見ることができます。



花はす公園（南越前町中小屋）

